

東芝テックのあゆみ

東芝テックは時代の変化に対応しながらステークホルダーの皆様とともに歩み続けています。
これまで培ってきた実績とノウハウを結集し、これからも新たな価値を創造していきます。

「自主自立」を理念に基礎構築

東芝からの分離独立以来、戦後の混乱期を駆け抜け、「自主自立」を理念に新しい事業分野を切り開き、当社の基礎を築く。

- 1950 東京電気器具株式会社設立
- 1952 東京電気株式会社に商号変更
- 1957 レジスター事業に参入
- 1962 三島工場を開設
- 1964 電動加算機「トステック」シリーズ生産開始



小型電動加算機
トステック「BC-401」

1960~

マーケットを世界に求めて 事務機に電子化の波

北米、欧州、東南アジアへと海外進出の本格化。
また、急激に小型・軽量化、低価格化が進み、事務機は電子化にシフト。

- 1969 初の海外現地法人TEC AMERICA, INC.を設立
- 1971 電子レジスター「マコニック」生産開始
- 1972 テック電子事務機(株)を設立
(1977年「テック電子株式会社」に商号変更)
- 1973 マイコンチップ搭載の電子レジスターを開発 **世界初**



電子会計機
「BRC-32CF-GS」

POS時代の幕開け プリンタ事業、世界のトップに

プリンタ、POSをはじめとする新たな分野への道を広げ、次代の大発展への基礎を固める。

- 1979 プリンタ分野に進出
- 1979 バーコードによる
スキャニングPOSシステム発売
- 1982 事務用コンピュータ
「事務コン帳作シリーズ」発売
- 1985 シンガポールの法人
SEMICON INDUSTRIES PRIVATE LTD.を買収、
海外生産を開始
(現在は、TOSHIBA TEC SINGAPORE PTE LTD.)



スキャニングPOSシステム「M-800」

1980~

1970~

1950~

変革と創造

変革と創造をスローガンに安定した利益を生み出す事業体制の確立を進める。

- 1994 テック電子(株)と合併し、「株式会社テック」に商号変更
- 1999 (株)東芝から複写機事業を譲り受け、「東芝テック株式会社」に商号変更
- 2001 中国(深圳)で複写機製造の新工場(東芝複写機深圳社)が稼動
- 2004 新経営理念「私たちの約束」制定
- 2004 消せるトナーe-blue対応のMFP[e-STUDIO 350EB]発売
- 2005 東京地区事務所を大崎(品川区)に統合
- 2006 セルフチェックアウトシステム「WILLPOS-Self SS-1000」発売



セルフチェックアウトシステム
「WILLPOS-Self SS-1000」

2018~

2010~

2000~

1990~

変化に対応できる 企業をめざして

経営の活性化とPOS事業の伸長を図る。

- 1987 縦型定置式スキャナ「テックスマートラインスキャナ」発売 **業界初**
- 1987 飲食店用無線オーダーシステム「オーダーストリーム」発売
- 1989 無線POSを開発 **世界初**
- 1989 バーコード事業本格化
- 1992 社会貢献基金活動を開始

グローバルワンストップ ソリューション企業をめざして

- 2011 値引きシール文字認識対応「画像処理式縦型スキャナIS-890T」発売
- 2011 用紙を再利用する複合機システムが地球温暖化防止活動環境大臣表彰(技術開発・製品化部門)を受賞
- 2012 International Business Machines Corporation (IBM) から同社のリテール・ストア・ソリューション(RSS)事業を取得
- 2013 ペーパーリユースシステム「Loops」発売
- 2013 オブジェクト認識対応縦型スキャナ「IS-910T」発売
- 2014 電子レシートサービス「スマートレシート」発売
- 2016 分担制チェックアウトシステム「Semiself」発売
- 2017 RFID読取りセルフレジを発売
- 2017 「消す印刷」と「残す印刷」を1台に搭載したハイブリッド複合機ペーパーリユースシステム「Loops」発売



バーコードプリンタ「B-470シリーズ」



Loops LP50シリーズ